

平成 23 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 23 年 5 月 19 日（木） 15:00～17:00

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者： 7 名 玉城徳正（患者遺族）、秦 克之（中頭病院）、
伊藤淳司（沖縄病院）、樋口美智子（那覇市立病院）、
高嶺ひとみ（豊見城中央病院）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院）、
西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）

欠席者： 6 名 田名勉（友声会：患者）、
喜納海里（マインドケアおきなわ）、神谷八重子（沖縄県立中部病院）、
望月祥子（ハートライフ病院）、伊良皆香代（沖縄県立八重山病院）、
前川一美（沖縄県立宮古病院）、

陪席者： 1 名 城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 23 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（4 月）

資料 2-2、2-3、2-4 に基づき、4 月に各拠点病院にて開催された患者サロン及び沖縄がん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。患者サロン（那覇市立病院）では、視覚障害者の方も参加されており、患者必携の音声機能についても紹介したことが報告された。また、沖縄がん患者ゆんたく会については、今年度選出された役員について報告があった。

2. がん相談件数（4 月）

資料 3 に基づき、樋口部会長より 4 月のがん相談件数について報告があった。

北部地区医師会病院	<u>未報告</u>	
沖縄県立中部病院	<u>83 件</u>	
那覇市立病院	<u>93 件</u>	
琉大病院	<u>48 件</u>	<u>(全て 4 月述べ件数)</u>

3. 「患者必携おきなわがんサポートハンドブック」の配布の整備について

資料 4 に基づき、おきなわがんサポートハンドブックの配布先について、報告があった。冊子の評価方法については、がん診療を行なっている医療機関へ冊子の配布と合わせてアンケート調査（期間限定）を行なう様、依頼することが承認された。アンケート回答のタイミングについては、各医療機関で調整することとする。

また、各医療機関からの追加冊子の請求については、沖縄県医務課で対応していることが報告された。

【協議事項】

1. 次年度相談支援部会年間事業計画の見直しについて

別紙資料に基づき、平成23年度相談支援部会年間事業計画において、アウトカム目標をベースとした計画への見直しについて再度協議された結果、別紙資料1の通り、変更となったことを報告する。

その中で、今年度の活動では、中期目標である相談窓口の認知度向上を目的とした認知度調査を優先的におこない、その結果を基に満足度調査を行なうことが承認された。具体的な周知方法としては、相談窓口案内用のチラシを主治医から配布する等、患者からの認知度を上げるためのシステムづくりが重要であり、今後も具体策について検討することとなった。

2. 患者、家族満足度調査内容について

別紙資料：事業計画ワークシートに基づき、中期目標である相談窓口の認知度を高めるため、現在の認知度、満足度調査を、今年9月までに調査シートの作成、今年度中（2012年3月までの期間）に実施する事が承認された。

調査対象者は、患者さん及び患者家族とし、外来化学療法中の方や患者会の方を対象に調査を行うことが検討された。認知、満足度調査は、5段階評価の、10～15項目（2ページ程度）とし、がん相談に対する認知、満足度を図ることを趣旨とし、調査する事が確認された。

尚、アンケート用紙は、次回の部会までにたたき台を作成し、協議されることとなった。

3. その他

平成23年度相談支援部会会長、副会長について以下の通り全会一致で承認された。

部会長 樋口 美智子（那覇市立病院）

副部会長 伊藤 淳司（沖縄病院）

4. 次回の部会日程

日 程：平成23年7月21日（木）（予定）

時 間：15時～ がんセンター

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

【目標】 ・がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられ、よりよい治療法及び療養場所を選択することができる

部会が担当する分野の課題と目標

中期目標: 2013年までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。
指 標: ①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法: 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

最終目標: 2018年までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。
指 標: ①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法: 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

